

2021 年度 定期大会 付属資料：2020 年度 活動報告
＜※今回に限り、2021 年 3 月中旬までの活動を記載＞
国民民主党再始動。

【結党大会】

2020 年 9 月 15 日、国民民主党は再始動しました。結党大会は、新型コロナウイルス対策を徹底した上で開催され、会場には国会議員 15 名と総支部長が参加し、地方組織や友好団体の皆さまにはインターネット中継を通じて参加していただきました。また、大会の様子は一般の方々にもご覧いただけるよう YouTube で生配信しました。

同大会は、山尾志桜里衆議院議員が大会実行委員長を務め、矢田わか子参議院議員が議長として大会を進行しました。結党にあたり、「穏健保守からリベラルまでを包摂する、国民が主役の改革中道政党をつくる」とした旧国民民主党の綱領を引き継ぐことが了承されました。代表には玉木雄一郎衆議院議員が 2020 年 12 月までの任期で選出され、幹事長に榛葉賀津也参議院議員、政務調査会長に舟山康江参議院議員、国会対策委員長に古川元久衆議院議員などの役員人事が承認されました。また、各議員のそれぞれの得意分野を活かした調査会も設置され、政策をより深化させていくための体制が構築されました。

大会に引き続き行われたトークイベントでは、伊藤孝恵参議院議員が司会を務め、ネットを通じて寄せられた応援メッセージや質問などが紹介され、政策分野ごとに国民民主党が目指す政策について前向きな議論が行われました。

【臨時国会での活動】

10 月からの臨時国会では、まずは党としての足元を固めるため、衆参ともに独立した会派運営を行いました。協力関係は尊重しつつ、党としての独自色を発揮しました。

政策の議論にできるだけ全議員が参加して多角的に議論を行い、まさに政策提案型の政党としてスタートを切りました。中でも、新型コロナウイルス対策を重視し、他の野党と共同で、地方の役割拡充や国の支援強化、医療・検査体制強化、海外からの感染防止等を内容とする新型インフル特措法等改正案を提出しました。また、法案の実効性を担保するための独自の改正案も提出しました。

各種調査会でも活発に議論を行いました。憲法調査会では「憲法改正に向けた論点整理」を取りまとめました。特に経済調査会では、新型コロナウイルスの感染拡大への対応として、総額 48 兆円の追加経済対策を策定しました。医療機関支援、水際対策強化など、いくつもの提案が実現し、政策提案型から政策先導型の政党へと進化しつつあります。

なお、働く現場の声をできるだけ反映したいとの考えの下、連合との意見交換会を開催しました。

1 月からの通常国会では、冒頭に令和 2 年度第 3 次補正予算案が審議されました。同補正予算は、医療機関等への支援など、国民民主党の提案は踏まえてはいましたが、GoTo トラベルキャンペーンなどコロナ禍において適当ではない事業等が数多く含まれていたため、国民民主党はこれらの措置を削減し、現役世代への一律 10 万円給付などを措置する組み替え動

議を国会に提出しました。残念ながら、政府与党などの反対で動議は否決され、同補正予算は政府原案通り成立しました。

次に、新型コロナ対策のためのインフル特措法改正案が審議されました。政府案は罰則を新設するのみで、「補償」が法律上義務付けられないなど問題が多いばかりでなく、一部の与野党の合意のみで極めて短時間の審議で成立することとなり、立法プロセスにも問題があったため、国民民主党は同改正案に反対しました。

令和3年度予算についても、新型コロナウイルス対策が不十分であること等から、国民民主党は現役世代への一律10万円給付などを措置する組み替え動議を国会に提出しましたが、政府与党などの反対で動議は否決され、同予算は政府原案通り衆議院で可決されました。

【2020年12月代表選挙】

代表の任期となる2020年12月末日に向け、先進的な党サポ登録・党費等支払・投票一括化システムを導入しました。具体的には、LINEにより簡易な形で党员・サポーター登録、決済でき、LINE上で代表選挙の投票が行えるというものでした。また、2020年12月の代表選挙においては、推薦人を必要とせず、立候補届出のみでよいとする代表選挙規則の改正を行いました。

伊藤孝恵参議院議員と玉木雄一郎衆議院議員が立候補しました。コロナ禍を踏まえ、候補者討論集会や街頭演説会を開催せず、「Go!Go!こくみんライブ」と題したYouTubeライブを中心に、インターネット上での選挙戦を展開しました。党员・サポーター、地方議員による郵便・電子投票、臨時党大会における国会議員及び総支部長の直接投票の結果、玉木雄一郎衆議院議員が新代表に選出されました。

【広報】

9月の設立大会に合わせ、党公式ウェブサイトを立ち上げました。設立大会以降は党としての活動を広く周知するとともに、各種SNSを活用しながら積極的かつタイムリーな取り組みを行いました。とくに新型コロナウイルス対策については、インターネットを通じてのパブリックコメントを実施し、幅広く意見募集を行いました。そして、集まった意見を党の政策に反映させるため、YouTubeライブ「Go!Go!こくみんライブ」も定期的開催し、有識者などのゲストとともに、視聴者を巻き込みながら政治的・社会的テーマについての議論を行いました。このように、「公開と参加」の広報手法に努めることで、有識者を含む多くに国民に政策形成への関与を実感していただくことの可能性と重要性を確認できました。今後、シンクタンク的な機能との連携を含め、広報活動を強化発展させていく基礎ができたと考えます。

こうしたインターネットを通じた広報にとどまらず、党の情報を支持者や関係者に直接届けるため、機関紙「国民民主プレス」を2020年10月から隔月で発行することとしました。また、政治活動用のポスターや、この間の党の実績を記載した号外ビラの作成にも取り組みました。

さらには、第 203 回臨時国会や第 204 回通常国会においては、所属議員の国会質疑のダイジェスト動画を作成するとともに、党幹部の定例会見を生中継するなど、動画を通じた広報活動に力を入れました。

【地方組織・財務】

2020 年内に 20 都府県連が立ち上がりました。また、行政区支部の立ち上げも認めるなど、党活動の足腰である地方組織の構築に努めました。

地域組織基盤の確立を最優先に、年末に都府県連に特別交付金の交付を行いました。

一方で、党本部においては、厳しい財政状況のもと、経常経費・政治活動費などの経費節減に取り組みました。

2021年3月10日 国民民主党両院議員総会提出
 2021年4月2日 国民民主党2021年度定期大会議案
 2020年度決算(仮) 2021年度予算

(単位：百万円)

項目		2020年度 予算	2020年度 決算(仮)	2021年度 予算	
収入の部	党費・会費・事業収入	2	2	1	
	寄附	0	0	0	
	政党交付金	580	570	2,400	
	その他収入(立法事務費含む)	936	947	106	
	借入金	0	0	0	
	当期収入合計	1,516	1,519	2,506	
	前年度からの繰越額	-	-	1,408	
	収入合計	1,516	1,519	3,914	
支出の部	経常経費	人件費	30	20	150
		備品消耗費・雑費	1	2	7
		事務所費	1	3	9
		その他経費	4	2	9
		経常経費合計	36	27	180
	政治活動費	広報宣伝費	15	6	30
		大会費	15	11	15
		会議費	10	3	40
		旅費交通費	5	2	20
		調査研究費	12	0	48
		寄附金・交付金	57	63	883
		その他の経費(予備費など)	26	0	140
		政治活動費合計	140	85	1,176
	選挙対策費	選挙対策費	-	-	1,500
		選挙対策等積立金	1,341	1,408	1,058
		支出合計	1,516	1,519	3,914

- ※1 2020年度予算、2020年度決算は2020年9月15日から2020年12月31日までの数値。
- ※2 2021年度予算の政党交付金及び立法事務費は1月1日基準により算定した額。
- ※3 四捨五入をした結果、合計が合わない場合がある。